

BE KOBE BE KEIO

2023 年 11 月 30 日発行

発行人：橋本敦子

発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルディング 625

TEL：078-393-0050

FAX：078-393-0051

E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp

URL：<http://www.kobekeio.org/>

編集人：鳥巢慶太／天竹清裕



12月9日(土)
クリスマス家族例会告知！！

2023 年 12 月 9 日(土)18 時～、神戸ポートピアホテルで、恒例のクリスマス家族例会が今年も開催されます！！

『なにわジャズ大賞 アマチュア部門』を受賞された大場会員の歌声とともに、ジャズの音色に包まれながら、心地よい一夜をお過ごしください！！

また、今年も恒例のオークション、ゲーム大会を開催します！！
慶應のサンタさんは今年もたくさんプレゼントを用意しておりますので、小さいお子さんから大先輩まで奮ってご参加ください！！
現在、豪華プレゼントを検討中です！！
参加人数に応じて、プレゼントの予算が決まりますので、1人でも多くのご参加を何卒よろしくお願いします！！

また、今回は初の0次会を開催します！！
海上 110m 上の SORAFUNE にて、薄暮から夜景へと移り変わる神戸を 360 度眺めながらワンドリンク頂きます。<https://www.portopia.co.jp/sorafune/>

また、恒例のオークションも開催します！！
皆様お1人1品、オークション商品のご提供を何卒お願い致します！！
また、不景気をぶっ飛ばすため、多くの参加者で盛り上げる必要がありますので、多くの皆様のご参加、何卒よろしくお願いします！！

BRB 編集部



10月例会

～横浜・隣花苑 二代目女将・西郷槇子さん（塾員）をお迎えして～

令和5年10月11日18時30分から、神戸ポートピアホテル 南館16F「レインボー」にて、神戸出身・横浜在住の康乗幹事のご紹介で、横浜三田会常任幹事でいらっしゃる西郷槇子さん（元隣花苑女将）よりお話いただきました。

また今回、西郷槇子さんをご一緒に数名、横浜三田会の方々も来神くださり、34名が出席となり、横浜・神戸、東西の港町同士の最高の三田会交流の場となりました。

さて、西郷槇さんは、塾員でもあり、横浜の名園として名高い「三溪園」に静かに佇む「隣花苑」の二代目女将を務められた方です。

横浜三溪園を開いた原富太郎（三溪）氏がその隣接地に、長女・春子さんのために建てたお屋敷を昭和38年に孫娘の俊子さんが料亭として創業、15年後の昭和53年に槇さんが二代目女将を引き継がれました。三溪氏の直系の曾孫として店を盛り立て、横浜の経済人・文化人にとってかけがえのない存在として慕われていらっしゃいます。隆盛を誇った隣花苑でしたが、建物の維持が困難となり令和2年8月に惜しまれながら閉苑となりました。

横浜三溪園「隣花苑」の女将でいらっしゃった西郷槇さんのお話は、第一声

「お着物で来なければならなかったのだと思うけど、遠いからお洋服で来ました！」という爽やかで自然体な笑顔で始まりました。気さくなご様子の槇さんはお洋服のお姿もとても気品高く、素敵でした。これこそが、本物の「品格」だと思いました。

お話は、三溪園の名前が三之谷の地名が由来になっていることや10棟の重要文化財が残っていること、創始者でいらっしゃる三溪さんの心の美しさが庭園の美しさにつながっているというお話、「自然は皆の物」とお庭を私物化せずに開放されたことから、とても三溪さんのリベラルなお人柄を槇さんのお父様はとても尊敬されていたことなど、ご家族ならではのお話をお聴きすることができました。

なんと槇さんのご実家の寝室には、岸田劉生の絵が飾ってあったそうです。槇さんは小さいころから本物の美術品に囲まれ、目の教育をされていたこと「物を置くところは一点しかない」という教えから、一流の美意識が養われたことは間違いなかったと思います。

閉苑となった「隣花苑」の建物は、700年の歴史があり足利時代の建物だったのは驚きで、それと同時に代々続けていくことの素晴らしさと、継いでいくということの責任の重さを感じました。槇さんが閉めようと決心なさり、お気持ちが楽になったというお言葉がとても印象的でした。

お話をお聴きした後は、神戸の地で一夜限りの復活を遂げることを楽しみにしておりました、「隣花苑と言えばこの料理」と謳われる名物「三溪そば」を頂きました。お蕎麦の美味しさはもちろんのこと、見た目の美しさ、家庭的な温かさもありながら、気品を感じさせる丁寧な手をかけられたお蕎麦を、神戸ポートピアホテルで頂けたことに感動しました。槇さんがこのために10:30にはポートピアホテルに到着して仕込みをされたとうかがい、またポートピアホテルの料理長様は三溪そばをメインとして会席メニューを考えてくださり、当日は仕込みのサポートもしてくださったとのことで感謝の気持ちでいっぱいになりました。お料理を頂きながら、まるで槇さんのお宅に招かれているようなおもてなしを感じ、これ

こそが榎子さんが受け継いでこられた「おもてなしの心」なのだと思います。まだ頂いたことのない、蓮華飯も是非頂いてみたいです。

お料理を頂きながら、横浜三田会康乗幹事にお話をいただきました。

幹事が「隣花苑」にいらっしゃった時のエピソードやお写真、ご一緒に過ごした方々のお話にも花が咲きました。康乗幹事のお話の中で、日本で初のラグビーの試合についてのお話やその様子を描いた絵も拝見し、横浜対神戸のインターポートマッチのお話や様々な日本の伝統スポーツのお話もとても興味深く、康乗幹事のお話にはいつも引き込まれて時間があっという間に過ぎてしまいます。横浜と神戸は「フレンドリーライバル」として、ライバルだからしのぎを削ってきたことを伺い、この先も素晴らしい関係を築いていけるであろうことを確信いたしました。

今度は是非、横浜三田会のイベントに伺えることを楽しみにしたいと思います。

改めて、神戸慶應倶楽部の会員であることに幸せを感じ、横浜三田会との親交をますます深められた一夜となりました。

玉井美津子（平成1文）





慶早ゴルフコンペ

年に2回開催されている慶早ゴルフコンペ。秋は早稲田のお世話になり、日本のゴルフ発祥の地として有名な神戸ゴルフ倶楽部で開催されました。

慶早合わせて19名の参加、団体優勝は慶應、個人優勝は慶應の野沢俊久さんでした。

六甲山に位置する神戸ゴルフ倶楽部での開催は5年振りだそうで、早稲田のご紹介による播田さまは、ゴルフ発祥の地に相応しいニッカボッカとハンチング帽でのプレイ、大いに雰囲気盛り上げていただきました。

神戸ゴルフ倶楽部は英国人のアーサー・ヘスケス・グルーム氏により、1901年に4ホールからスタートした大人の遊び場です。キャディ君が4人分のクラブを担いでくれるので、各自10本を厳選して臨みます。手造り感満載の全コース、アップダウン激しく、ブラインドホールも多く、ラフというよりもブッシュ、熊笹の茂みが待ち受けています。

当日は、お天気が目まぐるしく変わり山の天気そのもの。街はまだ残暑が残る気温なのに、スタート直前に小雨が降ったり、気温も一時は14℃と肌寒くなったり、風が吹いたり。晴れた日には山から見下ろせる神戸の街や海、遠くは和歌山方面の景色も時折姿を見せる程度でした。それでもワレモコウやチコリなどの秋の草に目を楽しませてもらいながら、厳しいコースに翻弄されながらも皆で楽しくラウンドできました。

プレイ後はコース内に位置するチェンバーと呼ばれる建屋で、恒例のすき焼きをいただきながらの成績発表で交友を温める締めくくりとなりました。

最後にグルームさんからの伝言。アマチュアゴルファーの真髄ですね。

「しくじったら、笑って悔しがればいい。」

田中 圭（昭和57文）



若手会

2023年10月20日（金）19時より、神戸慶應倶楽部若手会が開催されました。

今回の会場である【多幸家】は若手会のボスである松沢尚浩さん（H16 経）の推薦で、三ノ宮駅徒歩五分、選び抜かれた厳選肉の焼肉や韓国料理を提供する店舗であり、名前の通り、訪れた方に多幸福感をもたらす、神戸エリアでは知る人ぞ知る名店です。

各々ご多忙の中、初参加の会員も含め、総勢25名の方々にご参加いただきました。

多幸家の旬の食材を活かした韓国の香りと味、たくさんの梅酒に舌鼓を打ちながら、各テーブルで大きな声で会話をする様子は、同日に甲子園で開催されていた、阪神のCSファイナルステージを超える勢いの盛り上がりで、若手会の勢い・団結力をひしひしと感ずることができました。

最後は、應援指導部出身の丹下さん（R3 法）の渾身の指揮のもと、「若き血」の合唱を行いました。61歳の若さで亡くなられた松尾副会長へ熱いエールを届けることができたのではないのでしょうか。このような信頼できる仲間と定期的に集まることのできる神戸慶應倶楽部は改めて素晴らしい組織であると感じることができました。

『神戸慶應倶楽部が大好きでした。』松尾副会長が亡くなる1か月ほど前に、涙ながらにおっしゃった言葉だそうです。このように思える人が少しでも増えるように私自身も主体的に神戸慶應倶楽部に参画しようと強く感じた若手会となりました。

これからの人生、各々山あり谷ありかと思いますが、楽しんでまいりましょう！
うまいかないとき、辛いとき神戸慶應倶楽部で集まれば悩みが吹き飛ぶ！そんな憩いの存在になれば素晴らしいですね。

山田 慎二（平成28商）



関西合同三田会 in 堺

11月12日(日)、「関西合同三田会 2023 泉州大会式典」が開催されました。

式典では、塾歌斉唱の後、最初に、渡辺岳夫関西合同三田会会長から「宝塚大会から1年ぶりの関西合同三田会です。」とご挨拶があり、続いて西村元秀泉州慶應倶楽部会長から今回のテーマは「ひもとけば堺」であるとのことの説明を頂きました。

次に、菅沼安嬉子慶應連合三田会前会長から御来賓祝辞がありました。慶應義塾の変革の一環として、慶應連合三田会会長職の80才定年制を導入したことのお話を頂きました。そして、伊藤公平塾長から記念講演がありました。塾生の学習環境を良きものにするために、返礼品はないものの、ふるさと納税の相手に慶應義塾を選んで頂きたいとのことのお話を頂きました。

最後に、白神典之堺市博物館学芸員から特別講演「堺の歴史をひもとけば」と堺の通史の説明があり、慶應三田キャンパス内に鈴木貫太郎内閣総理大臣の石碑があるとのことでした。

続いて、「関西合同三田会 2023 泉州大会懇親会」が開催されました。会食・ご歓談の中、素晴らしい堺太鼓パフォーマンスがありました。

次回開催紹介では島村辰彦和歌山三田会会長から「空青し、陽輝き、海青し、いざ白浜へ」のキャッチフレーズの下、和歌山大会のPRをされました。

また、隈元英輔2023年度関西合同三田会実行委員長からの謝辞があり、コロナの影響で大会の延期が続き、今、誰よりも解放感を味わっているのはこの私ですとのことのお話がありました。

最後に応援指導部OBによる、若き血斉唱がありました。「三色旗の下に」「丘の上」「コールケイオウ・ダッシュケイオウ」「慶應讃歌」を肩を組み斉唱し、終了となりました。

笠原 秀彦(平成5法)





会員だより

《新入会の挨拶》

森 亮介（昭和60政）

法学部政治学科を1年遊学の後、1985年に卒業しました、森亮介と申します。それ以来、勤める海運会社での最後の奉公として2018年春に神戸港に赴任して参りました。ちなみに、海岸通りの突き当りに建つ支店ビルは、三田の旧図書館と同じく、曾禰中條事務所による設計で、戦火や地震にも堪え、私の在任時に100周年を迎えました。

当会への入会に際し、神戸ロータリーの諸先輩方から誘いを受けながらも、転勤族の流れ者ゆえに遠慮しておりましたが、定年退職を機に、自然に恵まれ、人情味に溢れ、そして気品高き神戸に居を落ち着けたことから、入会の届けを出すに至りました。

学生時代は三浦の海での合宿に明け暮れ、早慶戦とも三田祭とも縁遠かったのですが、甲子園での塾高球児たちの熱い活躍を見て、母港愛を再び思い出しました。微力ながら、当会の発展に貢献して参りたいと思いますので、宜しくお付き合いいただければ幸いです。



「伊藤元顧問の塾長就任を祝い表敬。左端が筆者」

《新入会の挨拶》

姜 彰周（平成 30 経）

高校時代とは打って変わって、自分が手を伸ばしたい方に、思う存分、手を伸ばして、足を運べた大学生活は最高の思い出です。

1 年生の夏は学校で案内のあった、UCLA の語学学校に留学に行き、英語オンリーで生活を送った結果、1 ヶ月半で、全く話せなかった英語が、人並みに話せるようになったり、2 年生の夏は東南アジアにヒッチハイクに出かけ、3 年生では起業して失敗し、あえなく 2 度目の 3 年生を、、その後は、また学生生活に戻り、ダンスサークルで、夜明けまで踊ったり、飲んだり。まさに青春という感じでした。

大学卒業後は、リクルートに入社し、熱くて"変な"人達に出会いました。リクルートで勤め上げるというよりも、会社を踏み台にして、もっともっと自由にやりたいことをやるんだー！という人たちが多く、動物園といっても過言でないくらい、色んな人が居ました。

結婚を機に、リクルートを卒業し実家の家業に帰ってくることになり、現在に至ります。

大阪出身ですが、大学入学してからずっと関西から離れておりましたので、グルメや色々な楽しい飲み屋さんとか色々教えてくださいー！

《新入会の挨拶》

堀川 大仁（昭和 50 商）

1975 年 商学部卒業の堀川大仁です。

出身は大阪市で、高校を卒業後、慶應入学を目指し受験しましたが、残念ながら初年度は失敗。大阪で予備校を経験して翌年念願の商学部に入學できました。

都会に憧れ一人で上京して嬉しかったものの、大阪を離れ不安でしたが、楽しい学生生活が始まりかけたのですが、丁度学生紛争の真っ盛り。1 年生の授業も夏休みまでで、その後はほとんど自宅待機で授業を受ける機会は余りなかったように記憶します。

其れでも、授業は受けなかったものの、皆と慶早戦の野球応援の後、銀座に繰り出し酔っぱらって大騒ぎしたり、旅行したり、今でもよい記憶がたくさん残っています。

卒業の後はアメリカのアイオワの大学に留学、卒業後は、もう無くなりましたが日商岩井という商社に入社、赤坂本社経験後、サンフランシスコに 3 年間駐在、退社して丸一鋼管というパイプ製造会社のヒューストン支店長とロスアンジェルス支店長を合わせて 3 年経験、一旦帰国して東京勤務の後、またロスアンジェルスにある丸一鋼管のパイプ製造/販売会社で 6 年間勤務、その後は本年 6 月に役員を退任するまで大阪と東京を行き来する生活を送りました。

三田会にはサンフランシスコ、ヒューストン、東京で入会しましたが、結構仕事も忙しく、余り参加することもできなかったのですが、今からは完全に毎日が自由時間。

今後は皆さまの仲間入りをさせていただきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

今後の予定

●12月クリスマス家族例会

日 時：12月9日（土）

＜SORAFUNE 0次会＞…16時30分～17時30分

＜クリスマス家族例会＞…18時00分～（受付開始：17時30分）

場 所：神戸ポートピアホテル

＜SORAFUNE 0次会＞…屋上 SORAFUNE

＜家族例会＞…ダイヤモンド

会 費： ＜SORAFUNE 0次会＞

大人・中高生 1,500 円／小学生 1,000 円／

ビジター＋1,000 円／※未就学児はご入場できません。

＜家族例会＞

大人 10,000 円／中高生 3,500 円／小学生 1,500 円／

未就学児無料／ビジター＋1,000 円

内 容：『なにわジャズ大賞 アマチュア部門』を受賞された大場会員の歌声を存分に楽しんだあとは、恒例のオークション、ゲーム大会があります。慶應のサンタさんは今年もたくさんプレゼントを用意しておりますので、小さいお子さんから大先輩まで奮ってご参加ください！！

締 切：12月1日

☆「0次会」からの参加、「家族例会」からの参加、いずれかお知らせ下さい☆

☆恒例のオークションを行いますので、何か一品お持ち寄りください☆

☆参加希望の方は、氏名、卒年、学部、同伴者を事務局までお知らせください☆

■12月クリスマス家族例会キャンセルポリシー

12月6日14時以降、キャンセル料（全額）がかかります。ご注意ください。

●新年顔合わせ会

お時間の許す方は、三々五々お集まりください。

日 時：1月4日（木） 11時30分～14時30分

場 所：神港ビル6階 倶楽部ルーム

●新年例会

日 時：1月18日（木）18時30分～（受付開始：18時00分）

場 所：西村屋和味旬彩

＜松尾 茂樹副会長（昭和 60 商）追悼＞

堺 充廣評議員（昭和 53 法）

「堺さん。ちょっと話があるんですわ。」と、眼鏡を光らせ、いつもと変わらない愛嬌ある顔で松ちゃん（親しみを込めてこう呼ばせていただきます）が話しかけてきたのは昨年暮の家族例会の席でした。とはいえ、改まった話し方なのでどうしたのかなと思うと、「僕、がんで医者からサクラを見れるかどうかとも分らないって言われてるんですわ。」とのこと。何ともあっけらかんとした口調に加え、とてもそんな重病とは思えない顔色の良さから、正直、何冗談言ってるのと思ったのが最初でした。聞くと、彼が実行委員長を務めた「2019 年関西合同三田会 in 神戸」のときにはがんが分かっており、治療に努めてきたが良くならず、いよいよ先が見えてきたということでした。嘘だろーと、とても信じられず、すぐには受け入れることができませんでした。

松ちゃんと特に親しく付き合うようになったのは、私が幹事長をしていた際に、幹事をお願いしてからです。当時は、大澤さんが副幹事長を、亡くなった梶田、石崎らが幹事として活動してくれており、月に 1 度程度は倶楽部運営の名目で会っては遅くまで酒を酌み交わしたものでした。また、私が会長を務めた平成 26 年から 28 年までの 2 年間、幹事長を務めてくれ、幹事団をうまくまとめ、倶楽部の円滑な運営に尽力してくれました。例会の最後に行うエールも率先してやってくれ、応援指導部のセーターまで購入して若き血をリードし、エールといえば松尾、と思われるまでになったことは、会員の皆様も十分に目に焼き付けられておられることと思います。

幹事長を退任後も、「2019 年関西合同三田会 in 神戸」の実行委員長を務め、既にかんの告知を受けており、体調が優れないときもあったようですが、「BE KOBE, BE KEIO」のテーマの元、神戸慶應倶楽部らしい華やかな、さすが神戸と言われる関西合同三田会を取り仕切り、大成功を収めたのも記憶に新しいところです。

家族例会の場で親しい仲間と食事をしようということになり、年明けに会った際には、自分らしく、最後まで生きていたいと話していました。その後の彼の生き様を見ると、ゴルフにテニス、関係した多くの会への出席や同級生らとの交流、会社の経営など、その言葉どおりに、松尾らしく、精一杯生き続けたように

思います。ご家族のお話ではお別れの会の企画まで全て自分で行ったそうで、僕など、到底見習うことはできません。ただただ、すごいな一松ちゃん、と感服するだけです。

1月に会った後も何度か顔を合わせていました。薬が効かなくなるといながらも顔色などには大きな変化はなく、サクラの季節もとうに過ぎ、安堵し、期待もしていたのですが、8月下旬に最後に会ったときには、かなり痩せ、歩くのも困難になっている状態で、心配していた矢先に訃報に接してしまいました。本当に、残念でなりません。

松尾らしい生き方に徹した松ちゃん。松ちゃんの生き様を忘れることはありません。もう、一緒に飲むことはできないけれど、梶田や石崎らと昔のようにワイワイ楽しんでください。僕らも、松尾を見習って自分らしく生きれたよ、って会ったときに言えるように頑張って生きていきます。

さようなら、松ちゃん。ありがとう、松ちゃん。

■松尾副会長「お別れの会」について

先日ご案内いたしました、ご遺族様から「お別れの会」について以下の通りご案内いただいております。

松尾副会長たってのご希望により、「ご縁のあった多くの方々にお集まりいただき、故人の思い出やエピソードを語り合いながら、湿っぽくなく和やかにお見送りいただきたい」とのことです。

日時：2023年12月16日（土）

式典 14：00～（受付 13：30～）

場所：神戸ポートピアホテル 本館地下1階「偕楽の間」

※当日は喪服ではなく、普段の服装でいらしてください。

※ご香典・ご供花・ご供物はご辞退なさっています。